

令和2年度 第1回 新庁舎建設検討委員会

日時 令和2年8月24日（月）

午後1時30分～

会場 大社町別館防災研修室

次 第

1 開会挨拶（梅原副市長）

2 内 容

(1) 市民アンケートの結果について

(2) 市民会議の開催状況について

(3) 新庁舎整備に関する職員アンケート調査について

(4) 新庁舎の施設規模について

3 閉 会

令和2年度 第1回新庁舎建設検討委員会 資料

1 市民アンケートの結果について

(1) 調査概要

現在の本庁舎は、昭和35年に、中央町別館は、昭和34年にそれぞれ建設され、ともに約60年が経過し、老朽化など様々な課題を抱えている。また、市庁舎は、新しい社会経済の変化に対応しつつ、市民サービスの向上や持続可能なまちづくりを図るための施設であるとともに、大地震など大規模災害時には、災害対策本部が設置されるなど、市民の皆様の生命や財産、生活を守る災害拠点となる重要な施設である。

このような状況を踏まえ、市庁舎について市民意見を把握し、庁舎の建替えに関する検討へ反映させることを目的に市民アンケートを実施した。市民アンケートの調査概要は次の表のとおり。

調査対象	市内在住者で年齢階層毎に無作為に抽出
調査方法	郵送配布 郵送回収方式
調査期間	2019年11月15日(金)配布 11月25日(月)回収 (12月3日(火)到着分まで対応)
標本数回収率	配布数:2,000票 回収数:1,308票(男:596票 女:708票 その他:1票 無回答:3票) 回収率:65.4%
アンケート項目	問1～問5:属性(性別、年代、居住地区、在住歴、職業) 問6:市役所訪問の頻度 問7:よく訪れる庁舎 問8:市役所訪問時に最も利用する交通手段 問9:市役所訪問の目的 問10:市役所の施設で不便に思うところ 問11:庁舎の統合について 問12:庁舎の今後のあり方に対する考え 問13:市役所の場所として重視するもの 問14:市役所に一緒にあるとよい施設 問15:自由記述 問16:市民会議への参加意向

(2) 調査結果(抜粋)

市民アンケートの調査結果(抜粋)は次の表のとおり。

<p>市役所訪問時に施設の使い勝手などで困ったことや不便に思ったこと【問10】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体では、「駐車場が利用しにくい」が60.8%と最も多く、次いで、「担当部署がどこにあるのか分かりにくい」(45.3%)、「窓口が分散している」(24.4%)の順となっている。 ●在住歴別では、「1年未満」で「照明が暗い、空調の効きがよくないなど、快適でないこと」が38.5%と高くなっている。 ●職業別では、「学生」で「駐輪場が利用しにくい」が12.5%と高くなっている。
<p>現在の庁舎(本庁舎、中央町別館及び大社町別館)の統合意向【問11】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体では、「統合すべき」が57.2%と最も多く、次いで、「手続の分野ごとに建物が分かれていてもよい」(20.8%)、「分からない」(18.8%)の順となっている。 ●年齢別では、「40～49歳」で「手続の分野ごとに建物が分かれていてもよい」が27.5%と高くなっている。 ●居住地別では、「旧市内」で「手続の分野ごとに建物が分かれていてもよい」が26.6%と高くなっている。
<p>庁舎の今後のあり方に関する考え【問12】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体では、「できるだけ早期に、一か所に統合した上で建て替えしたほうが良い」が64.4%と最も多く、次いで、「現在の庁舎を長寿命化し、できるだけ長く使ったほうが良い」(21.6%)の順となっている。 ●年齢別では、年齢が高くなるにしたがって、「現在の庁舎を長寿命化し、できるだけ長く使ったほうが良い」の割合が高くなる傾向にある。 ●在住歴別では、在住歴が長くなるにしたがって、「現在の庁舎を長寿命化し、できるだけ長く使ったほうが良い」の割合が高くなる傾向にある。 ●来訪頻度別では、来訪頻度が高くなるにしたがって、「できるだけ早期に、一か所に統合した上で建て替えしたほうが良い」の割合が高くなる傾向にある。
<p>「市役所の場所」として重視するもの【問13】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体では、「電車やバスなどの公共交通機関で行きやすい場所」が55.4%と最も多く、次いで、「防災上安全な場所」(32.6%)、「現在の場所」(25.5%)の順となっている。 ●年齢別では、「18～19歳」で「電車やバスなどの公共交通機関で行きやすい場所」(65.6%)、「防災上安全な場所」(37.5%)が高くなっている。 ●居住地別では、「旧市内」で「現在の場所」(39.0%)、「錦田地区」で「防災上安全な場所」(40.8%)が高くなっている。 ●在住歴別では、「1年未満」で「防災上安全な場所」(42.3%)、

	<p>「1年以上5年未満」で「防災上安全な場所」(41.1%)と「用地の取得や仮移転など、無駄な支出を抑えることができる場所」(31.1%)、「5年以上10年未満」で「周辺の交通渋滞を招かない場所」(33.7%)が高くなっている。</p>
<p>市役所に「一緒にあるとよい施設」【問14】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体では、「銀行、ATM」が39.8%と最も多く、次いで、「国や県を含めた他の公共施設」(22.4%)、「郵便局」(22.3%)の順となっている。そのほかに、「市政情報や観光情報の発信・閲覧コーナー」(21.3%)、「レストラン、カフェ」(20.8%)、「市民の皆様が使える会議室や交流施設」(20.0%)が20%以上となっている。 ●年齢別では、どの年代においても「銀行、ATM」が最も高くなっている。 ●職業別では、「学生」で「銀行、ATM」が50.9%と高くなっている。 ●訪問頻度別では、「週に1回訪問」で「市民の皆様が使える会議室や交流施設」が42.9%と高くなっている。

※詳細は別添資料1を参照

2 市民会議の開催状況について

市民会議は市民アンケート等により市民会議参加希望者を募集し、当該参加希望者により市民会議を組織され、当該会議では参加者をグループに分け、新庁舎の整備に関する問題等を各グループで話し合い、その問題等を全てのグループで共有することとしている。

(1) 開催状況

市民会議の開催状況は次の表のとおり。

	開催日	場所
第1回	平成31年2月1日(土)	三島市役所本館3階第1会議室
第2回	令和2年10月3日(土)	社会福祉会館4階大会議室
第3回	令和2年10月17日(土)	
第4回	令和2年11月7日(土)	
第5回	令和2年12月5日(土)	
第2回以降については、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期している。		

(2) 実施内容(第1回)

市民会議(第1回)の実施内容は、次の表のとおり。

テーマ	「現庁舎を見て、知ってほしい」		
参加者数	40人		
スケジュール	時間	次第	内容
	13:30～	挨拶	主催者挨拶
	13:35～	趣旨説明	市民会議の目的の説明、市民アンケート調査結果の報告
	13:45～	見学会	A・B班に分かれて、庁舎を見学
	14:35～	ワーク	見学して気づいたこと、現庁舎の問題点を各班で確認
	15:15～	発表	各班より、ワークで確認した成果を発表
	15:30	閉会	閉会挨拶・次回開催内容の報告

※詳細は別添資料2を参照

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

第2回以降の市民会議については、新型コロナウイルス感染症対策として、以下の事項を実施する。

- 参加者には、受付時に非接触体温計により体温測定を実施(測定の結果、体温が37度5分以上の方は市民会議への出席をご遠慮して頂きます。)
- 参加者はマスク、フェイスシート等の着用を要請
- 会場には手指の消毒設備を設置
- 密閉、密集及び密接を避けるため、大空間の会議室を利用し、また、会議中は常に換気を実施

3 新庁舎整備に関する職員アンケート調査について

各課室の庁舎利用状況や、住民対応の状況と対応面での課題等を確認するため職員アンケート調査を実施する。

また、アンケート調査等の結果から、既存庁舎が抱える課題を整理するとともに、当該課題への対応として考えられる対応の方向性について整理し、調査結果は新庁舎の整備に関して、今後、作成する基本構想及び基本計画等の基礎資料として活用する。

(1) アンケート調査の区分

アンケート調査の区分は次の表のとおり。

区分	対象
課室アンケート調査	各課室(公民館、幼稚園及び保育園等の外部施設は対象外)
職員アンケート調査	部長及び対象課室に所属する全ての職員(協議会職員等を含む)

(2) アンケート項目

アンケート項目は次の表のとおり。(詳細は別添3を参照)

課室アンケート調査

大項目	中項目	小項目
所属部署		所属部
		所属課
		所属部署所在庁舎
執務スペース		座席数
		執務スペースの面積
		打合せスペースの有無
		打合せスペースの面積
		打合せスペースの位置
		職員人数
職員人数の内訳		部長(参事、技監を含む)
		課長(副参事、副技監を含む)
		課長補佐(主幹、技術主幹を含む)
		係長(主任、主任技師を含む)
		その他正規職員(再任用職員を含む)
		会計年度任用職員
		その他職員
窓口関係		窓口の有無
		ハイカウンターの席数
		ハイカウンターの長さ

		ローカウンターの席数
		ローカウンターの長さ
		個室ブースの席数
		個室ブースの数
		来客用の待合席
来客人数		最大来客数
		平均来客数
		最小来客数
		平均対応時間
保有文書量		執務スペース内文書量
		執務スペース外文書量
	執務スペース外文書量の 内訳	本庁舎文書量
		中央町別館文書量
		大社町別館文書量
		その他施設文書量
保有倉庫・文書庫	保有倉庫等面積の内訳	保有倉庫等面積
		本庁舎倉庫等面積
		中央町別館倉庫等面積
		大社町別館倉庫等面積
		その他施設倉庫等面積
その他		移設が必要なシステムの有無
		移設が必要なシステムの名称
		庁舎移転時の懸案事項等

職員アンケート調査

大項目	中項目	小項目
基本事項		職員区分
		性別
		通勤手段
望ましい庁舎整備		庁舎の再整備にあたって、重要と思われる理念（考え方）
		市民サービス面で重要だと思うこと
		市民協働・市民参画を推進するうえでの庁舎機能として重要だと思うこと
		環境に配慮した庁舎づくりについて、重要だと思うこと

		庁舎整備の方法について
		庁舎の建設場所について
		庁舎整備に関する要望等
現在の庁舎について	利用環境	現庁舎は、市民が利用しやすい環境になっていると思うか？
		利用しやすい環境になっていないと思う理由
	執務スペース	現在の執務スペースの広さ
		執務スペースの改善すべき点
	会議室	会議室の充足状況
		会議室に望むこと
		会議室の配置
	打合せスペース	打合せスペースの充足状況
		打合せスペースに望むこと
		打合せスペースの配置
	倉庫・文書庫	倉庫等の充足状況
		倉庫等に望むこと
	トイレ・洗面所	トイレ・洗面所の充足状況
		トイレ・洗面所に望むこと
福利厚生施設	更衣室	更衣室の充足状況
		更衣室に望むこと
	休養室	休養室の充足状況
		休養室に望むこと
	食堂	昼食を取る場所
		庁舎内の食堂の必要性
		庁舎内の食堂の利用頻度
	福利厚生施設について重要だと思うこと	
その他		セキュリティ対策の現状
		必要なセキュリティ対策
		保有文書の削減について
		在宅勤務について
		市民や利用者から頂いた意見・要望

4 新庁舎の施設規模について

(1) 三島市公共施設保全計画

令和2年3月に策定した三島市公共施設保全計画(実施計画)では、本庁機能(本庁舎、中央町別館、大社町別館)の統合及びその他施設の複合を検討するとしており、当該計画では次の表の施設を統合・複合するとしている。

施設名	建物名	現在 延べ面積 (単位:㎡)	複合後 延べ面積 (単位:㎡)
本庁舎	本館	4,418.08	10,421.00
本庁舎	西館	2,052.40	0.00
本庁舎	屋外文書庫	470.04	0.00
本庁舎	情報センター	190.00	0.00
中央町別館	中央町別館	2,395.19	0.00
大社町別館	別館庁舎	895.80	0.00
電算センター	電算センター	0.00	190.00
高齢者いきがいセンター	本館A	333.33	100.00
保健センター	保健センターA	819.00	770.00
保健センター	保健センターB	800.00	0.00
社会福社会館	館舎	1,173.45	700.00
総合防災センター	防災センター	675.56	453.00
東地区コミュニティ防災センター	防災センター	408.28	150.00
西地区コミュニティ防災センター	防災センター	481.59	150.00
南地区コミュニティ防災センター	防災センター	400.00	150.00
北地区コミュニティ防災センター	防災センター	275.50	150.00
面積計		15,788.22	13,234.00
備考			
1 各コミュニティ防災センターは備蓄倉庫部分を複合			
2 新庁舎整備に係る削減割合は16.2%			

(2) 新庁舎の施設規模

新庁舎の施設規模については、三島市公共施設保全計画(実施計画)の複合の延べ面積13,234㎡を目安に、今後の基本方針等の検討を進めていく。

ただし、駐車場及び駐輪場といった市民及び職員が来庁時又は出勤時に利用する施設については、上記の規模には含まれていない。